

# 東 マ 会 報

第 1 4 号



(写真は第34回武蔵陵マラソン開会式で宣誓をする松田瑞江選手)

平成26年5月1日

編集発行：NPO 法人東京マスターズ陸上競技連盟 会長 井口輝男

〒192-0083 東京都八王子市旭町 11-8 アクセスビル 909

Tel042-656-7575

E-mail ; tokyomas@aurora.ocn.ne.jp

Web Site ; <http://www6.ocn.ne.jp/~tomaster/>

# 平成26年度東京マスターズ陸上競技連盟

## 総会、研修会開催

平成26年度NPO法人東京マスターズ陸上競技連盟総会は、去る4月12日（日）午前10時より、八王子市上柚木陸上競技場に329名（出席35名、委任出席294名）の会員が出席して開催されました。平成25年度事業報告・決算報告、26年度事業計画・予算の審議が議題で、慎重審議の末、原案通り承認可決されました。また、本連盟第18期（平成26～27年度）役員の改選が行われました。

### 25年度事業報告（M=マスターズ）

事業名	開催日	会場	参加者数	備考
総会	25/4/7	上柚木競技場	29	内女子4
実技研修会	25/4/7	上柚木競技場	55	内女子7
第22回五種競技兼記録会	25/5/6	夢の島競技場	281	内五種43
第15回関東Mロード	25/6/16	皇居桜田門	531	内女子106
第22回関東M陸上	25/7/21	国立競技場等	746	内女子86
第31回東京M陸上	25/8/11	国立競技場等	612	内女子64
第4回長距離記録会	25/9/7	上柚木競技場	262	内女子12
第14回東日本M陸上	25/11/16	国立競技場等	1012	内女子147
第15回東京Mロード	25/11/30	国営昭和記念公園	1697	内女子320
第26回全日本M駅伝	26/3/2	武蔵野の森公園	41チーム	内エルダー20
第2回全日本Mロード	26/3/2	武蔵野の森公園	353	内女子80
第34回武蔵陵マラソン	26/3/30	八王子綾南公園	700	内女子172
第34回全日本M陸上	25/9/6~8	佐賀県	55	内女子5
第20回世界陸上	25/10/16~	ブラジル	4	内女子1
第1回東京M理事会	25/4/7	上柚木競技場	15	
第2回東京M理事会	25/12/7	法曹会館	15	
平成25年度顧問参与会	25/12/7	法曹会館	22	
第1回関東M理事会・実行委	25/6/28	国立木競技場	17	
第2回関東M理事会	25/11/26	国立木競技場	17	

## 平成25年度決算報告書（25年4月～26年3月）

A 収入科目	予算額	決算額	予算残高	説 明
1 入会金及び会費収入	3,131,000	3,259,000	-128,000	新規加入 155 人 登録者776人
2 事業収入(D)	28,992,000	30,359,880	-1,367,880	研修会、記録会、大会など15事業の参加料、広告料等収入
3 補助金等収入	1,221,000	1,100,000	121,000	6社からの民間助成金
4 寄付金収入	1,000,000	920,670	79,330	会員386名様からの寄付金
5 繰入金収入	1,000	0	1,000	
6 雑収入	77,000	1,996,291	-1,919,291	文部科学大臣生涯スポーツ功労賞受賞を祝う会会費収入等
当期収入合計(A)	34,422,000	37,635,841	-3,213,841	

B 支出科目	予算額	決算額	予算残高	
1 事業費(E)	23,482,000	25,776,539	-2,294,539	研修会、記録会、大会など15事業の会場費、情報処理費、審判料、参加賞、賞品代、傷害保険料、印刷費、通運費等
2 管理費	10,302,000	10,441,340	-139,340	連盟運営に係る事務所費、人件費、会議費、分担金、通運費、印刷費、用器具用品代等
3 繰入金	1,000	0	1,000	
4 予備費	637,000	2,316,163	-1,679,163	文部科学大臣生涯スポーツ功労賞受賞記念式典パーティー費用
当期支出合計(B)	34,422,000	38,534,042	-4,112,042	
当期収支差額A-B	0	-898,201	898,201	
前期繰越収支差額		3,557,907		
次期繰越収支差額		2,659,706		

### 財産目録（平成26年3月31日現在）

流動資産合計 2,659,706 円

固定資産合計 10,295,405 円

合 計 12,955,111 円

## 26年度行事予定表 (M=マスターズ)

事業名	開催日	会場	締切日	備考
総会	26/04/12・土	上柚木陸上競技場	26/03/31	
実技研修会	26/04/12・土	上柚木陸上競技場	26/03/31	
第23回五種競技兼記録会	26/05/06・祝	上柚木陸上競技場	26/04/01	
第16回関東Mロード	26/06/08・日	皇居桜田門	26/05/03	
第23回関東M陸上	26/07/21・祝	江戸川区陸上競技場	26/06/16	
第32回東京M陸上	26/09/15・祝	上柚木陸上競技場	26/08/10	
第15回記念東日本M陸上	26/11/09・日	上柚木陸上競技場	26/10/04	
第5回記念東京M長距離記録会	26/11/15・土	上柚木陸上競技場	26/10/10	
※第16回東京Mロード	26/11/29・土	国営昭和記念公園	26/10/24	
※第27回全日本M駅伝	26/12/27・土	国営昭和記念公園	26/10/22	
※第3回全日本Mロード	26/12/27・土	国営昭和記念公園	26/10/22	
第35回武蔵陵マラソン	27/03/29・日	八王子綾南公園	27/02/24	
第35回全日本M陸上	26/09/19~23	岩手県北上市		金~月
第20回アジアM陸上	26/09/19~23	岩手県北上市		金~月
当年度第1回東京M理事会	26/04/12・土	上柚木競技場		
当年度第2回東京M理事会	26/12/06・土	法曹会館		
当年度顧問参与会	26/12/06・土	法曹会館		
第1回関東M理事会・実行委	26/06/27・金	江戸川区陸上競技場		
第2回関東M理事会	26/11/25・火	八王子伊勢元		

### ※日程変更のお知らせ

会場の都合により、カレンダー記載の下記日程が、上表※の通り変更されましたので、貴殿のカレンダーもご変更下さい。

第16回東京Mロード	26/12/06・土	国営昭和記念公園	26/11/01
第27回全日本M駅伝	27/01/18・日	国営昭和記念公園	26/11/29
第3回全日本Mロード	27/01/18・日	国営昭和記念公園	26/11/29

## 平成26年度予算書（26年4月～27年3月）

A 収入科目	予算額	25年度 決算額	予算残高	説 明
1 入会金及び会費収入	3,351,000	3,259,000	92,000	新規加入 150 人 登録者 800 人見込
2 事業収入(D)	27,095,000	30,359,880	-3,264,880	研修会、記録会、大会など15事業の参加料、広告料等収入
3 補助金等収入	1,101,000	1,100,000	1,000	6社からの民間助成金
4 寄付金収入	920,000	920,670	-670	会員様からの寄付金
5 繰入金収入	1,000,000	0	1,000,000	次期繰越収支差額より
6 雑収入	77,000	1,996,291	=-1,919,291	文部科学大臣生涯スポーツ功労賞受賞を祝う会会費収入等
当期収入合計(A)	33,544,000	37,635,841	-3,213,841	

B 支出科目	予算額	決算額	予算残高	
1 事業費(E)	21,800,000	25,776,539	-3,976,539	研修会、記録会、大会など15事業の会場費、情報処理費、審判料、参加賞、賞品代、傷害保険料、印刷費、通運費等
2 管理費	11,111,000	10,441,340	669,660	連盟運営に係る事務所費、人件費、会議費、分担金、通運費、印刷費、用器具用品代等
3 記念事業費	500,000	0	500,000	
4 予備費	133,000	2,316,163	-2,183,163	
当期支出合計(B)	33,544,000	38,534,042	-4,990,042	
当期収支差額A-B	0	-898,201	898,201	
前期繰越収支差額	2,659,706	3,557,907	-898,201	
次期繰越収支差額	2,659,706	2,659,706	0	

※各会員にお届けした会報第14号の4ページ平成26年度予算額中、B支出科目の予算額欄の数字を総て訂正してあります。したがって予算残高欄も訂正致しました。間違っただけをお詫び申し上げます。

## 第18期東京マスタース陸連役員名簿 (平成26~27年度)

(順不同)

- 顧問 石原伸晃 (東京陸協会会長) 堺 美保 (理研ビタミン(株)社長)  
田中茂樹 (全国マラソン連盟会長) 永井孝彦 (理研香料工業(株)社長)
- 参与 伊藤陽三 (東京陸協監事) 井上有美 (大学陸上研究会理事長)  
入野 進 (日本体育大学名誉教授) 岩崎直臣 (理研ビタミン(株)部長)  
大槻高弘 (東京陸協常務理事) 奥 裕之 (日本体育施設(株)社長)  
鎌田道雄 (司法書士事務所長) 小島壽一郎 (府中陸協会会長)  
佐藤 正 (東京マスタース陸上会員) 田中利雄 (東京陸協理事長)  
田中義一 (東京マスタース陸上会員) 藤田幸雄 (東京陸協評議員)  
堀越好夫 (元日本陸連評議員) 本橋由次 (東京マスタース陸上会員・新)  
吉本延男 (東京マスタース陸上会員) 若村俊介 (理研香料工業(株)取締役)
- 名誉副会長 松田寛次 (東京マスタース陸上会員)
- 理事・名誉会長 秋山 肇 (東京陸上競技協会評議員会議長)
- 理事・会長 井口輝男 (東京陸上競技協会評議員)
- 理事・副会長 内田 勇 (東京陸上競技協会顧問)
- 理事・専務理事兼事務局長 生方文枝 (東京陸上競技協会評議員)
- 理事 佐々木守夫 (審判担当) 寺島美則 (経理担当) 松本 忠 (総務担当)  
五味 恵 (ロード担当) 菊池昌久 (T&F担当) 横田勝利 (競技担当)  
石川達夫 (情報担当) 松田瑞江 (普及担当) 市村 真 (城東地区担当支部長)  
小竹勝太郎 (都外地区担当支部長) 山崎英也 (城西地区担当支部長)
- 幹事 内野耕一郎・野澤恒雄
- 専門委員 山片茂樹 (強化担当) 高雄國男 (審判担当) 原 嘉則 (ロード担当)  
宮崎常勝 (施設用器具担当) 林 潤二 (競技担当・新) 生方征夫 (庶務担当・新)  
折野榮子 (庶務担当・新) 川田はつ子 (医務担当)

## 総会の後、陸上競技実技研修会が行われました

### 実技研修は一流講師陣で

下記、一流講師陣による東京マスターズ実技研修会は、総会終了後、午後1時より、受講者60名が、八王子市上柚木競技場に集合して実施されました。短距離障害、中長距離、跳躍、投擲、競歩の五班に分かれ、それぞれの専門の講師により、延々3時間、実施されました。100m記録会が最後に実施され、殆どの受講生が参加し、自己の記録を手土産に持ち帰りました。

A班	短距離・障害	大森盛一元オリンピック日本代表	27名
B班	中・長距離	浜田安則元陸連強化委員	7名
C班	跳躍	大門正男日体協公認コーチ	8名
D班	投擲	恩田 実元アジア大会日本代表	11名
E班	競歩	原 義美元世界陸上日本代表	7名

当日は快晴の1日で、風も少なく、その中で100メートル記録会は行われました。<この記録は手動で、非公認記録ですが、毎年1回、同じ時期に計ることによって、自分の健康と長生きの指針になると思います。井口会長>

## 記 録

水口正人 40才 12"2 森田 崇 44才 12"0 佐藤 健 44才 12"5 森本一行 44才 12"1  
吉岡広起 45才 14"0 福丸和信 45才 15"6 能登 治 48才 12"7 岩井真彦 50才 14"1  
佐川智典 53才 13"9 世古 徹 51才 13"6 村上喜彦 54才 15"2 小澤一夫 56才 16"0  
松本英昭 57才 13"7 川崎昭二 57才 14"2 峯浦孝雄 59才 23"1 石井健次 61才 25"6  
長 利光 62才 16"1 齊藤充子 64才 26"2 今西清和 62才 17"5 篠崎栄男 63才 17"0  
安達隆男 64才 18"4 松村美尚 68才 14"0 奥平邦男 68才 15"7 石堂 怜 71才 15"3  
牧野 稔 69才 15"6 望月晴夫 71才 16"6 来田悦一 76才 20"2 宝来 威 72才 15"5  
大倉昭次 72才 20"0 滝與一郎 74才 17"1 澤田 孝 76才 16"5 寺尾晴三 80才 19"2  
壺岐みか 52才 24"6 広瀬淳郎 78才 20"2 大宮真弓 42才 18"8 福丸裕子 49才 17"3  
岡田志美子 71才 37"1

復活3回目

## さよなら国立競技場

### 第15回東日本マスターズ陸上競技大会

東京マスターズ陸連では、平成4年5月、東京・国立競技場で第12回大会が開催されて以来、宮崎での世界マスターズ選手権のため中止となっていた東日本マスターズ大会を、東北、北陸、東海及び関東の4地域マスターズ陸連の同意を得て、実に20年ぶりに第13回東日本マスターズ陸上競技大会を平成24年8月に同じ国立競技場で開催致しました。予想を超える635名の参加のもと、盛会裡に修了することが出来ました。

そして昨年、平成25年11月、復活第2回目の第15回大会を国立競技場で開催しました。そのすぐ前の9月7日、I O Cが2020年オリンピック東京開催を決め、そのメイン会場となる国立競技場が、平成26年7月から改造されることとなり、そのために次回からは、ここで開催することが出来なくなりました。名残を惜しんで参加された方も多かったのでしょうか。実に1020名の競技者のご参加のもと、盛会裏に終了することが出来ました。

主管となる東京マスターズ陸連では、7年後の2021年からは、いち早くここで再開したいと思っておるところであります。どうか皆様も、それまでお元気でお待ち下さるようお願い申し上げます。

### 第34回武蔵陵マラソン大会、盛会裡に終る

東京マスターズ創立最初の事業として開催された、理研香料工業(株)、理研ビタミン(株)協賛の標記大会は、去る3月30日

(日)東京・八王子市陵南公園、清流浅川沿いの、日本陸連公認コース・浅川ゆったりロードに、男子528人女子172人計700人のランナーが集まり、蕾の桜の木の下で、心地よく年代別に3km,5km,10kmを走りました。

次回の、第35回記念大会は平成27年3月29日(日)に盛大に行われます。会員全員のご参加をお待ちしております。



(写真は開会式で高齢者賞を受ける選手たち)



## お蔭さまで創立35周年

昭和55年（1980年）9月13日、東京マスターズ陸上競技連盟が発足してから、本年9月13日でまる35年になります。

本連盟では、創立20周年と30周年で記念事業を行いました。35年間に30年以上東京マスターズ陸連に登録して来られた方々等を、来る12月13日（土）に行われる予定の顧問参与会にお招きして、記念パーティーを開催する予定にしております。具体的には、理事会で決定されます。

## 日本陸連の会員になれます

東京マスターズクラブが平成14年度から発足し、次の活動しております。

- 1、各会員を東京陸上競技協会に登録し、日本陸連の会員証を交付しております。
- 2、日本陸連や東京陸上競技協会主催の競技会に参加しております。
- 3、東京陸上競技協会（陸連）の運営に参画しております。
- 4、公認審判員の資格をとり、或いは進級を目指す会員の希望を叶えております。
- 5、クラブ会費は、年3,000円（陸連登録料2,600円、事務費400円）で、入会ご希望の方は、東京マスターズ陸連事務局(042-656-7575)までお問い合わせ下さい。なお、平成26年度のクラブ会員数は4月末現在で14名で、陸連登録会員名簿は次の通りです。（順不同）

来田悦一（長距離 1937年生れ）	井上 巖（長距離 1956年生れ）
奥富邦夫（競歩 1972年生れ）	上村洋太（短距離 1977年生れ）
川上義昌（長距離 1942年生れ）	國本由紀子（長距離 1962年生れ）
河野昌宏（長距離 1941年生れ）	齊藤充子（競歩 1949年生れ）
野明厚夫（長距離 1938年生れ）	遠藤 寛（長距離 1937年生れ）
山田 俊（長距離 1933年生れ）	浅井和雄（競歩 1947年生まれ）
高野一郎（長距離 1958年生れ）	熊本恵美（跳躍 1973年生れ）

## 文部科学大臣賞受賞祝賀会開催

東京マスターズ会長井口輝男氏（81才）が、「永年に亘りスポーツの普及振興に尽力し、他の模範となる功績を挙げた」として、平成25年10月14日の体育の日に、文部科学大臣より生涯スポーツ功労賞が授与されました。

これを祝う会が、平成26年2月15、東京八王子市の京王プラザホテルにおいて、記録的な大雪の中、発起人代表の秋山 肇氏ほか約200名の関係者が集まり、盛大に開催されました。

## 東京マスターズホームページのご活用を！

ホームページを一新しました。そのアドレスは、

<http://www6.ocn.ne.jp/~tomaster/> です。

本ホームページでは、東京マスターズ陸上競技連盟の行事予定が掲載されています。この予定を見ることにより各大会の要項、大会が近付いたら大会のタイムテーブルが、大会が終了すれば大会の記録が順次記録されて行きます。また、記録のランキング表が掲載されています。

このランキング表では、東京マスターズが主催する競技会の記録及び会員から寄せられた記録を使ってクラス別の記録を掲載しています。

今後とも魅力あるホームページにしていきますので皆様のご支援のほどをよろしくお願い致します。

## 東京マスターズ会員バッジの販売について

東京マスターズ陸上競技連盟のバッジは、男子用、女子用を作成し、1個500円で販売しております。これも各競技会の会場に用意しておりますので、この機会にお求め下さいますよう御案内申し上げます。

## 東京陸上競技協会だより

平成20年12月、公益法人関連三法が施行されてから、東京都内陸上競技の統括団体である東京陸上競技協会が、目まぐるしく動きました。

昭和10年4月 東京陸上競技協会設立

平成7年4月 社団法人東京陸上競技協会設立

平成24年4月 一般社団法人東京陸上競技協会設立

平成24年8月 一般財団法人東京陸上競技協会設立

平成24年12月 一般社団法人を一般財団法人に吸収合併

平成25年4月 一般財団法人東京陸上競技協会として活動開始

平成26年4月 公益財団法人東京陸上競技協会発足

公益財団法人になってから、総会が評議員会に移行し、東京マスターズ名誉会長の秋山肇、会長の井口輝男、専務理事の生方文枝、理事の五味恵が評議員に選ばれました。

また、本会参与の田中利雄氏が理事長に、伊藤陽三氏が監事に、大槻高弘氏が理事に、藤田幸雄氏が評議員に、本会監事の野澤恒雄氏が理事にそれぞれ選出されました。

## 関東マスターズ陸連便り

関東8都県で構成する標記陸連は、平成25年度次の通り三つの会議を開き、第15回関東マスターズロード選手権と第22回関東マスターズ選手権大会を事業報告の通り開催しました。

平成25年6月28日、第1回理事会（国立競技場レストランオリンピック）

事業報告、決算報告

第22回関東マスターズ選手権大会実行委員会

平成25年11月26日、第2回理事会（国立競技場レストランオリンピック）

事業報告、26年度事業計画決定

新法人日本マスターズに派遣する関東マスターズ選出理事に、井口輝男（東京）中嶋誠次（神奈川）大谷勝義（群馬）を決定。

常務理事会構成の件で、次の要望書提出を決定。

平成26年2月7日、第3回理事会（国立競技場レストランオリンピック）

事業報告、新法人日本マスターズに派遣する関東マスターズ選出理事に、中嶋誠次から高原良祐に変更（神奈川マスターズ理事長交代）

平成26年度予算及び分担金決定

## 要望書の全文

平成26年1月20日

社団法人に本マスターズ陸上競技連合

会長 鴻池 清司 殿

関東・東京マスターズ陸上競技連盟会長 井口 輝男  
茨城マスターズ陸上競技連盟会長 海老澤武雄  
栃木マスターズ陸上競技連盟会長 高橋 文吉  
群馬マスターズ陸上競技連盟会長 中沢 丈一  
埼玉マスターズ陸上競技連盟会長 鎌田 保則  
千葉マスターズ陸上競技連盟会長 林 昇志  
神奈川マスターズ陸上競技連盟会長 石川信夫  
山梨マスターズ陸上競技連盟会長 田中 重治

### 公益法人日本マスターズ陸上競技連合定款（案）の 一部変更について（意見並びに提案）

日本マスターズ陸上競技連合が内閣府より公益社団法人認可の内諾を得、2014年4月1日から発足すべく準備を進めている表記法人定款の一部に、以下の問題点があると思われる、早急のうちに定款一部変更につき提案いたします。

## 記（１）

### 1、第6章 役員（役員の設置）

第21条第3項には

「前項の会長をもって法人法上の代表理事とする。副会長、専務理事及び常務理事をもって法人法上の業務執行理事とする。」と位置づけを定めております。

### 2、（理事の職務及び権限）第23条第2項には

「会長は、法令及び定款で定めるところによりこの法人を代表し、その業務を執行し、副会長、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人業務を分担執行する。」と担当業務を定めております。

### 3、その第3項には「会長、副会長、専務理事及び常務理事は、自己の職務の執行の状況を（中略）理事会に報告しなければならない。」とその義務が定められています。

### 4、問題点は以下の如くであります。

第7章 理事会（常務理事会）第37条 「常務理事会は、会長、専務理事及び常務理事をもって構成し、理事会から委任された事項及び緊急に対処すべき事項を検討する。」

とありますが、ここに副会長が欠落しております。このことは単純ミスであるのか、あるいは故意とするものか理解に苦しみます。

以前の定款では、副会長は常務理事会に位置づけられていなかったことで、新定款案においても表記しなかったとすれば、内容検討が軽薄であり思慮に欠けた成文案と言わざるを得ません。

過去において東京への事務局移転問題について混乱があり、その折に某理事からの発言によって会長、副会長及び専務理事にて構成する三役会にて話し合うことと決定致しました。しかしながら三役会は単独会議としては一回として開催されず、開催の場合は三役・常任理事会としての言わば「抱き合わせの会議」であり、更に、三役・常任理事会の前には必ず常任理事会を開催し、議案を一方的に固めたうえで三役・常任理事会を開催しての議案提案の形態であって、まさに副会長の口封じの手段としか判断せざるを得ません。

このような謀略的、非民主的な運営が、新公益法人において行われるべきでないことは自明の理とするところであります。公益社団法人申請の準備段階で指摘できなかったことは究めて残念であります。このまま放置することは許されません。従いまして早急のうちに（新法人発足早々）次の通り定款の一部を改定（変更）下さるよう提案いたします。

## 記（２）

### 現行条文

（常務理事会）第37条 常務理事会は、会長、専務理事及び常務理事をもって構成し、理事会から委任された事項及び緊急に処理すべき事項を検討する。

## 提案条文

(常務理事会) 第37条 常務理事会は、会長、副会長、専務理事及び常務理事をもって構成し、理事会から委任された事項及び緊急に処理すべき事項を検討する。

以上

## 日本マスタース便り

### 公益社団法人発足

2014年・平成26年に入ってから会議

1月17日 第6回常任理事会（大阪）平成26年度事業計画・予算等

1月31日 三役・第7回常任理事会（東京）平成26年度事業計画・予算等

2月1日 第20回通常理事会（東京）平成26年度事業計画・予算等

### 公益社団法人新役員選出

※上記三役を含む常任理事会及び通常理事会において、井口副会長は、上記関東マスターズの定款一部変更に関する要望書に対する鴻池会長の回答を求めたが、鴻池会長は、自らの回答を避けた。

2月1日 第19回通常総会（東京）平成26年度事業計画・予算等

### 新役員の承認

会長推薦理事：織田和雄（副会長） 山田展也（専務理事） 鴻池清司（会長）

岡 桂子(常務理事・事務局長) 尾崎 宏（副会長） 田中克行

河村建夫（副会長） 以上7名

地域選出理事：八重樫輝男 井口輝男（副会長） 大谷勝義 高原良祐

石田秀雄(常務理事・競技運営委員長) 佐野昭二(常務理事・総務委員長)

高橋 正 木村清衣衛(常務理事) 熊木利隆 斉藤忠彦 公家清孝

黒木通哲(常務理事・財務委員長) 貝原幸三 以上13名

監 事：清原 博 中嶋誠次 渡辺一弘 以上3名

3月3日 第8回常任理事会（東京）専門委員長等内定

4月5日 新法人第1回常務理事会（東京）副会長順位等内定

第1副会長 織田和雄 第2副会長 井口輝男 第3副会長 尾崎 宏

第4副会長 河村建夫

※井口副会長は、上記関東マスターズの定款一部変更に関する要望書に対する鴻池会長の回答を再三求めたところ、鴻池会長は、総務委員会で検討するよう指示した。